

## がん化学療法レジメン登録票

レジメン名	アベルマブ(メルケル細胞癌)
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	根治切除不能なメルケル細胞癌
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Sk-010
登録日・更新日	2020年2月25日
削除日	
出典	パベンチオ点滴静注200mg添付文書
入力者	菅野 仁美

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	アベルマブ(遺伝子組換え) (パベンチオ点滴静注)	200mg	10mg/kg	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	1時間	day1
	生理食塩液	250mL				

1コースの期間	14日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日)・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p><b>【延期基準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Grade2の間質性肺疾患</li> <li>AST(GOT)若しくはALT(GPT)が基準値上限の3~5倍、又は総ビリルビンが基準値上限の1.5~3倍に増加した場合</li> <li>Grade2又は3の大腸炎/下痢</li> <li>Grade3又は4の甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症、副腎機能不全、高血糖</li> <li>Grade2又は3の腎障害</li> <li>Grade2のinfusion reaction:投与を中断する。患者の状態が安定した場合(Grade1以下)には、中断時の半分の投与速度で投与を再開する。</li> <li>上記以外でGrade2又は3の副作用発現時</li> </ul> <p><b>【中止基準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Grade3、4又は再発性のGrade2の間質性肺疾患</li> <li>AST(GOT)若しくはALT(GPT)が基準値上限の5倍超、又は総ビリルビンが基準値上限の3倍超に増加した場合</li> <li>Grade4又は再発性のGrade3の大腸炎/下痢</li> <li>新たに発現した心徴候、臨床検査値又は心電図による心筋炎の疑い</li> <li>Grade4の腎障害</li> <li>Grade3又は4のinfusion reaction</li> <li>上記以外でGrade4又は再発性のGrade3の副作用出現時</li> <li>副作用の処置としての副腎皮質ホルモン剤をプレドニゾン換算で10mg/日相当量以下まで12週間以内に減量できない場合</li> <li>12週間を超える休業後もGrade1以下まで回復しない場合</li> </ul>
前投薬	アベルマブの前投薬として、H1ブロッカーおよび解熱鎮痛剤を使用する。 (例 マレイン酸クロルフェニラミン10mgおよびアセトアミノフェン500mg)
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>Grade1のinfusion reaction出現時は投与速度を半分に減速する。</li> <li>0.2μmのインラインフィルターを使用して投与。</li> <li>Grade1はNCI-CTCAE(Common Terminology Criteria for Adverse Events)v5.0に準じる。</li> </ul> <p><b>【免疫チェックポイント阻害薬を使用する際の注意事項】を参照</b></p>

記入者	菅野 仁美
確認者	池 成基